

# 平成 19 年度事業報告書

## 1. リハビリテーションの振興・調査研究事業の充実

( 65,057 千円 )

障害者の自立、社会参加、QOL(生活の質)の図るため、障害者の保健福祉に関わる研究等を次のとおり実施した。

総合リハビリテーション研究大会の開催  
障害保健福祉総合研究事業の推進  
障害者自立支援に係る好事例の収集及び調査研究事業

## 2. 国際協力・交流事業の推進

( 106,304 千円 )

一昨年、国連で採決された「障害者の権利条約」は、昨年 9 月に外務大臣が署名を終えた。また、第二次「アジア太平洋障害者の十年」(2003-2012)は中間年を迎えたが、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)は、昨年 9 月のハイレベル政府間会合で、「びわこミレニアム・フレームワーク」の補足文書である「びわこプラスファイブ」を採択した。このため、RI(国際リハビリテーション協会)、APDF(アジア太平洋障害フォーラム)、JDF(日本障害フォーラム)との連携を密にし、国際協力・交流を積極的に促進するほか、次の事業を実施した。

第二次「アジア太平洋障害者の十年」事業の推進  
RI(Rehabilitation International = 国際リハビリテーション協会)への参加と事業推進  
国際協力・交流プロジェクトの推進  
国際研修事業

## 3. 情報収集・提供事業の充実

( 154,858 千円 )

障害者の自立と社会参加、QOL 向上を図る上で必要不可欠な情報入手・コミュニケーション推進に資するため、次の事業を実施した。

研究情報システム事業  
障害者情報ネットワーク運営事業  
DAISY 開発普及推進事業  
出版事業等